

ピルグリム・ファーザーズ

1620年、イギリス人のピューリタンで初めてアメリカ大陸に移住した。

the Pilgrim Fathers ピルグリムとは、「巡礼」の意味。ピルグリム・ファーザーズは「巡礼始祖」と訳され、1620年に国教会を強制するジェームズ1世の迫害から逃れたピューリタン（清教徒）で、メイフラワー号に乗って北アメリカに渡り、プリマスに上陸した人々を言う。彼らは、イギリス国教会を批判するピューリタンたちであり、アメリカに渡る前には、一時オランダのライデンに移住するなど、信仰の自由を求めて移動したので、「巡礼」と言われた。

彼らはヴァージニア植民地の成功の話を聞き、そこをめざして1620年9月、イギリスのプリマス港を出発し、65日間の航海の末、11月11日にヴァージニアのかなり北方のケープ=ゴットに到着、上陸して植民地プリマスを建設した。彼らは新天地に移住するメイフラワー号の船中で、「メイフラワー契約」を締結し、「契約により結合して政治団体をつくり、もってわれらの共同の秩序と安全とを保ち進め」ることを誓約した。

（「[世界史の窓](#)」）